

城下のまち鶴岡将来構想  
鶴岡駅前のまちづくりに関するアンケート  
(教職員用)

集計報告書

通常版

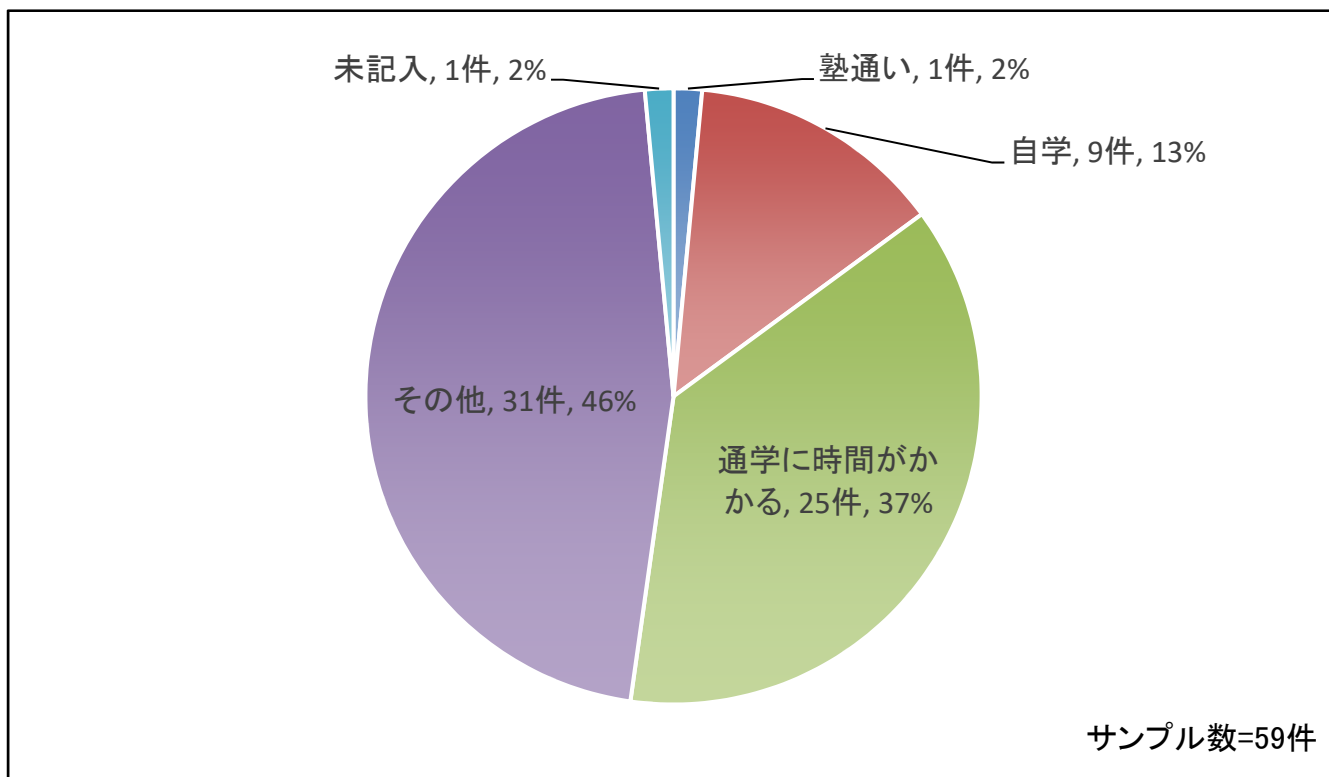
◎アンケート協力高等学校: サンプル件数172

- ・鶴岡南高等学校 ・鶴岡北高等学校 ・鶴岡工業高等学校 ・鶴岡中央高等学校
- ・鶴岡東高等学校 ・加茂水産高等学校 ・庄内農業高等学校 ・庄内総合高等学校
- ・羽黒高等学校 ・鶴岡工業高等専門学校 ※順不同

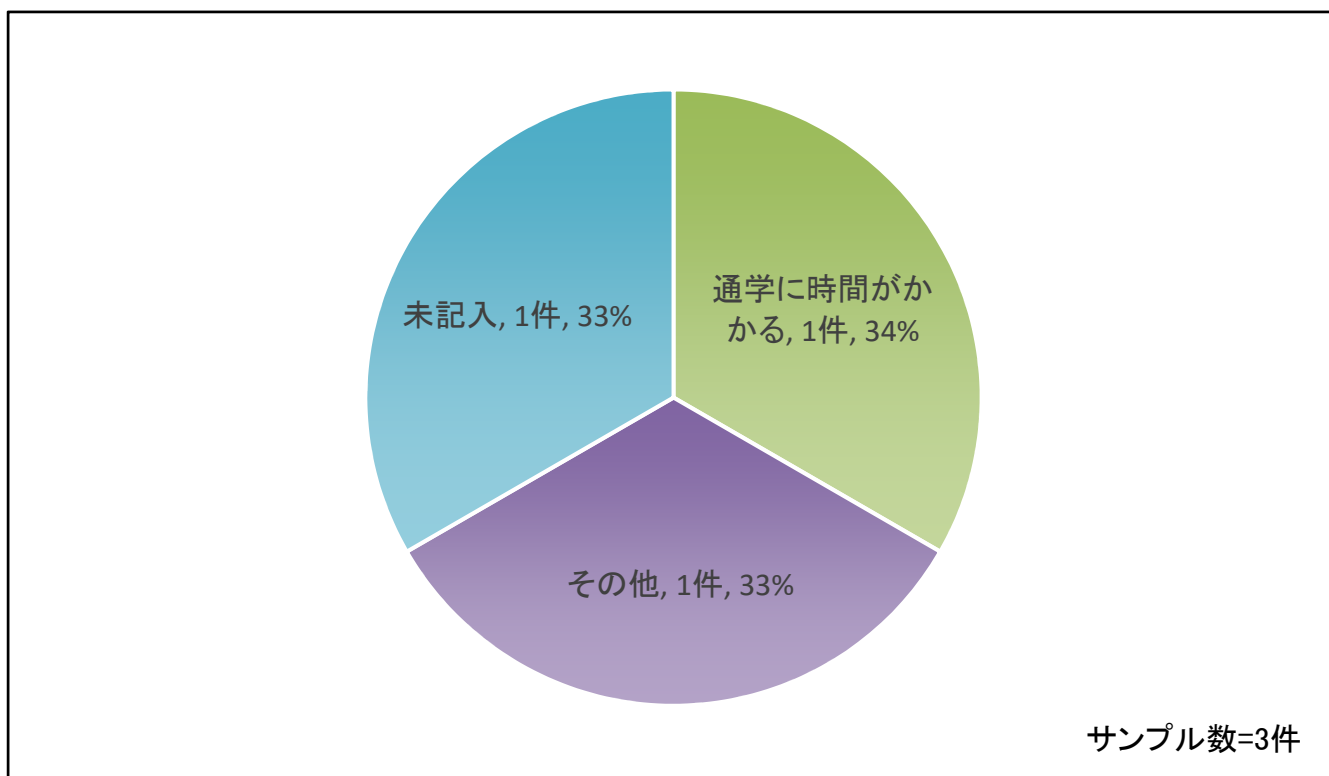


問1-1 「参加は難しい」「参加できない」理由として考えられることは何ですか？

【参加は難しい】



【参加できない】



## 問1-1 「参加は難しい」→その他【サンプル回答数31件】

授業終了が16:45 部活動終了が18:30
部活動等が終了する時間19時頃
部活動終了の時間が遅いため
学校の終了時間が遅い
高校生、忙しいです
部活の後だと学習時間に影響がある。現実的には部活と学習の両立も難しい
部活動が忙しい生徒は難しい
進学や就職のための学習はもちろん、人によってはアルバイトや通学に時間がかかる等、時間をとれない人が多いと思うから。
部活動に参加していない生徒であれば参加できる
部活後は遅くなるため
(頻度によるし週一日程度であればよいと思う)休憩が必要
帰校時間が遅い
多くの生徒が部活に所属していて、実習等の活動も放課後の時間を使うこともあるため、参加できる生徒が限定されると思う
部活動をしている生徒は終わると19:00頃になるため
部活動無所属生徒は可能かもしれないが少数。部活動参加生徒は、部活が終わるのが18時や19時頃であり、帰宅も考えると時間をとるのは困難。

部活、生徒会が終わる時間が遅く、難しい
やるが多くなると学習時間や自由な時間が減るから
時間が遅くなり、安全面や保健面(夕食の時間が遅くなるなど)の不安につながる。
授業のみの生徒は参加可能だと思います。部活動等をやっているとその後の時間はないと思います。
参加できる生徒は一部限定的だと思います。部活動の生徒や帰宅方向が違う生徒はわざわざ行くことはないと思います。
部活動の終了時間が遅く、その後活動を行うゆとりがない
部活動終わるのが、18時19時で、そこからの参加は時間的に厳しいのではないのでしょうか
部活動が終わり電車で鶴岡駅前まで行けば7時もなる。時間的に難しいのでは？
家庭の経済的な理由で、放課後、アルバイト等で家計を支えている生徒が多数いるため
部活動等がある生徒は難しい
学校内でのやるが多すぎる。時間がない。
活動が終わり、自宅に帰る時間が7時頃になると思われる。その後の校外活動は時間的には遅すぎるのではないか。
スクールバス通学のため
部活動後の参加が難しい
羽黒高校の生徒はスクールバスで通学のため自宅に直接帰ることが基本だから
教員が引率する場合、参加が難しい(時間外労働)





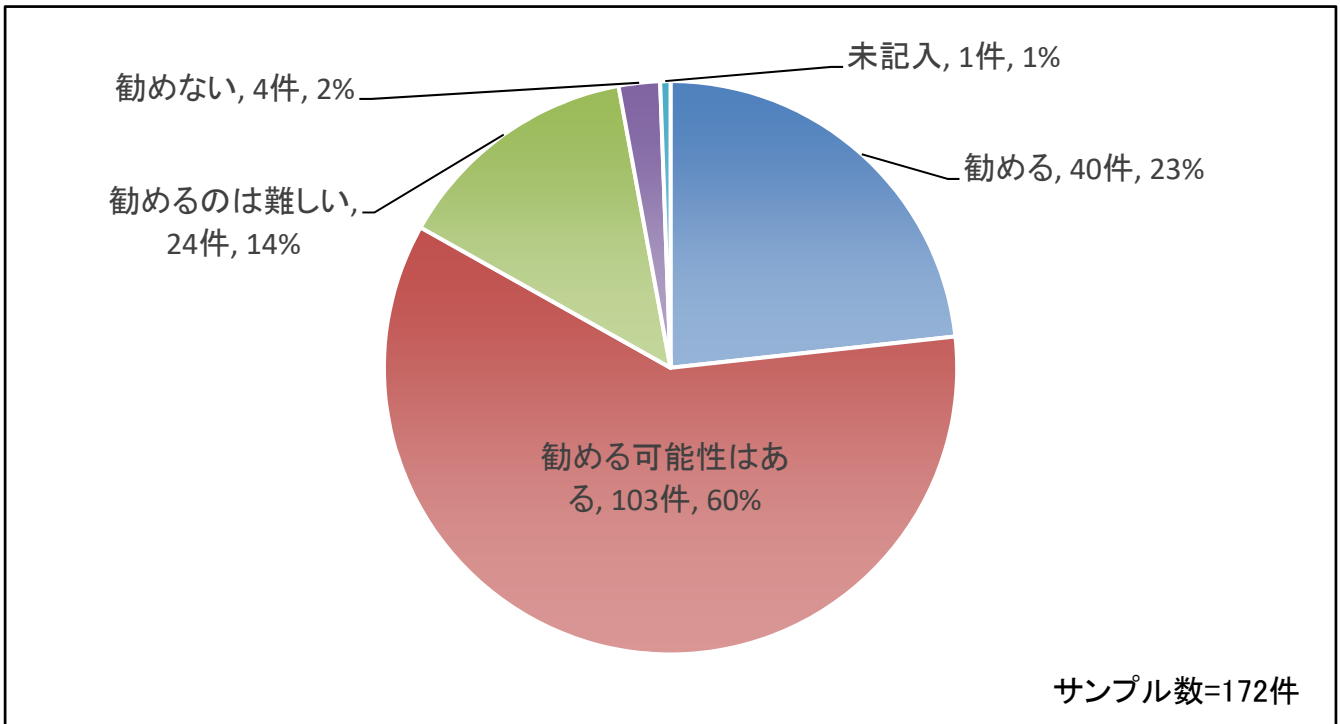




## 問1-2 「ある」→その他【サンプル回答数13件】

様々なつながりをもてる
そこに企業がどうかかわるかによる。
大学受験などで自己志望書に記入できる。
進学・就職の際の動機づけになる可能性がある
内容と時間帯によるが、合同企業説明会などであれば
観光案内や職業体験などは学校生活のみではなかなかできることではないため、良い社会経験になると思います。
ボランティア等は調査書履歴書に記載できる
生命先端研究所の研究生として活動し進める際もした後も本人のためになる(AO推薦を受けられることができる)
コミュニケーション能力の育成
地元を知ることになるので、地元就職や一時期地元を離れても強い印象となって残る。
社会勉強ができる。(地域、人とのつながり等)
様々なつながりができる
上記どちらにも当てはまると思う。就職する時の自己PRにもつながる。

問1-3 貴校の生徒が校外活動に参加することが当該生徒の進学や就職につながる/役立つとしたら、生徒へ参加を勧めますか？



問1-3 生徒へ参加を勧めるか？

コメント記入欄

Blank lined area for entering comments.

問1-3 「勧める」「勧める可能性がある」を選択した場合、どのような  
校外活動と進学・就職との関連が考えられますか？

問1-3 「勧める」【サンプル回答数31件】

AO、総合型入試に活かせると思いますし、生涯のライフワークになる可能性もあるのでは？
進路興和・模試
大学研究室とのつながりから進路意識が具体的になる。職業が様々な大人と接することで、キャリアについての考えが深まり、学習への意欲発揚にもつながる。
進路先の分野の決定につながる。
進学、就職には直接結びつかないが、同年代のみではなく多くの異なる年代とふれあうことで成長につながると考える。
様々な郊外活動は、面接のときのよい材料となる。
AO、推薦など入試との関連
生徒のやりたい事が自由にやれば良い。そこにサポーター(指導者)が付けるとさらに良い
地域企業や地域大学等との交流体験を通して地方創生につながる(地域に根づく)ことを期待したい。
就業体験をすることにより、業務内容を知ったり試験における面接時にPRできる。
山大工学部建築デザイン学科？
地元を知ることで、探究活動につながる→小論文など。
採用条件等に関わるものがあれば勧める。
自分が興味を持って始めた活動であれば、AO・推薦には必ず役立つと思います。

<p>ポートフォリオへの掲載自体が進学に役立つ。ボランティア→社会学系、地域創生系につながる。</p>
<p>先端研などの研究助手、起業のインターンシップ</p>
<p>学校関係者以外との関係が希薄で社会との接触が少ない高校生が、他様な業種とのコンタクトできる環境や職業選択の可能性を考える機会が学校主体以外でもあれば良いと思う</p>
<p>校内活動だけでなく校外活動も生徒の進学(推薦入試・AO入試)や就職にとって有利になる可能性がある。</p>
<p>〇〇大学の研究生→該当大学の推薦が受けられる。進学に有利。</p>
<p>職業をもっと身近に体験できるようなものがあれば、自分の適正が分かったり、なるためにどのような進路が考えられるかなど進路選択の参考になるかと思う。</p>
<p>外国人との交流などで、英検や英会話に効果がある。→進学につながる。</p>
<p>調査書やポートフォリオへの記載ができる</p>
<p>ボランティア 観光案内</p>
<p>校外活動を行うことにより、就職してからの業務に何らかの良い影響が得られる。</p>
<p>ボランティア、インターンシップなど社会を知り、社会の厳しさを感じとれるような活動</p>
<p>地元企業でのアルバイト等により地元社会人とのふれあい地元に対する考えを深めることができる</p>
<p>直結する内容、最短距離を大人が探すのは意味がないと思います。生徒達が遠回りでも、自分達でやりたい事を発見し、それを積み上げていくのがいいのではないかと感じます。大人が準備したものに子供が乗っかる時代は終わっている気がします。次のステップを考えるべきです。</p>
<p>自ら考え、それを実行する経験ができたなら、成長し、この体験を面接で言える</p>

大学への進学目的が明確になったり、就職の適性がわかったりするため
生徒の視野を広げることができる
ボランティア活動により、進路の推薦書に記載できる。また、面接で体験を述べることもできる。校外の団体に所属して活動することも同様のことができる。

### 問1-3 「勧める可能性はある」【サンプル回答数66件】

推薦の剤用になる
地域の活性につながる活動
地域内での就職
AO推薦での自己PRの材料になる。ボランティア活動、地元とのつながりなど
その生徒の進路希望に合った活動を紹介し、その活動を通して志望理由をかためたり推薦などに活かしたりできるのではないか
様々なことを体験することで、興味関心が広がり、将来への選択肢が広がる。または確固たるものになる
職業の体験活動、体験から得られる人間的成長、自分への自身が進路先へのアピールにつながる可能性がある
「〇〇都市鶴岡」(様々なジャンルを作る)との連携をより発展させるプロジェクトに民・官・学の連携を作っていくと、広い関係性が生まれメリットとなる
山形大学、慶応大学の講座受講や研究協力により、AO推薦に生かせる。ボランティア活動や職業体験により将来の志望に対する意識を高めたり志望理由に生かせたりする。地元企業や地域の方達との交流により、地域とのつながりを感じ、将来地域に貢献したいとの意識づけにつながる可能性がある。
AO推薦が受けられる
地域とのつながり。異年齢の人とのつながりによって視野が広がる。課題発見能力を身につけられる

自分が進みたい分野にかかわる内容であれば、進学に役立つためすすめる。まちづくりなど、自らが地域貢献に関心のある生徒にすすめる。
看護補助や街づくりの体験が大学や市役所の試験の面接に役立つから
部活動以外での校外活動で自己PRにつながる
コミュニケーション能力の向上につながる
志望理由書などで記入できるならば勧める。
結果的に役立つのであって、最初からそういうつもりで勧めるつもりはありません。
地元の魅力を再確認でき、地元定着が高くなるのでは。
AO入試(総合型選抜)につながる
総合的な探求の時間において、活動できる内容があれば、その成果を進路に生かすことが可能かもしれない。
先端研の高校生に対する取組み→進学意識の向上につながる
地元企業の様子を知ることができ、地元就職希望者がふえる可能性
高校生向け合同企業説明会や地域住民をまきこんだ
わかりません。
あまり考えられない。Qが「～としたら」なので○を付けました。
職業体験や職場体験などで、就職した際のイメージができる
生徒の進学先での評価の際の活動内容として記載することができる。
ex.の通りだと思います。
希望する業種を考える機会になる。探究学習として大学進学の際アピールできる。

(ex.)こんな感じ。イメージは先端研のようなものだったら
推薦等の面接で話す材料となる。
職業体験は就職活動に役に立つと思われる
活動を通して自分を知ることができれば進路につながるかもしれない
部活、生徒会等に入っていない生徒に対してであれば、すすめる可能性はあります。テーマ、内容が何であれ、主体的に活動すればAO、小論、就職対策全てと関連する可能性がある。
職場見学、訪問によりイメージから現実に変化させられる。進学希望だとしても進学校の理想と現実を考えさせられる。
普段の学校生活では得られない職業体験や職業に関する学びが得られる可能性があるから。
ガイダンスやインターンシップなどで、地元での就職率向上につながる。
○…就職の地元志向が強いので、社会を知るよい機会になればありがたいです。
進学先や就職先の考えによる
就業体験による進路に対する意識向上
地元企業での簡単なしごと体験の場、鶴岡の文化を学ぶを持つことで、進路決定時の選択肢を増やすことができる。
海の森活動、AO
高校生活の中で力を入れた事などのネタとして。
校外活動の内容(カリキュラムの豊富さ)にもよるのでは？
外部の人とのかかわり、言葉づかいなど。
生徒の自主性や向上心につながる

ex.その通り
ボランティア活動？
産学協働の垣根を低くした上で、リアルな現場を経験できれば、どの進路に優利に働くと思います。
ワークショップ活動を通し、企画力・行動力・意思決定力・コミュニケーション力を養うことにより、地域に貢献しようとする生徒が育つ
様々な企業、学校などの先輩方から話を聞ける
地元企業の職業体験により、地元への就業意識が深まる。
観光案内をすることにより、様々な世代の方とコミュニケーションができ、社会性が高まる。
地元企業の職業体験はありがたいが、高校生とのコラボで企画するものがあればいいのでは
面接での大きなPRポイントになる
大学進学につながる講座や研究
他校生と関わり、視野を広めることは、成長につながるから
就職試験等での自己PRになる(特に部活動等に所属していない生徒)
生徒に有益な活動であれば、勧める
AO推薦でのアピール材料になるような(企業との連携など)の関連
AO推薦や一般推薦、就職での面接などで活かせると思う。
職業体験、製造業以外の具体的な仕事を生徒は知りたがっている
アルバイト等は社会勉強になり、自分のやりたいことを探すのに役立つ







問2-1 「可能である」「可能性がある」を選択した場合、どのような形で授業に取り入れることが可能ですか？または、取り入れるにあたっての課題はありますか？

問2-1 「可能である」【サンプル回答数19件】

鶴南ゼミ
様々なボランティアの拠点として活動をしてもらいたい。(除雪、一人暮らしのお年寄りの声がけ、学習支援、老人との交流など)「高校生が社会と交流を持ってほしい」国際村の機能を駅前へ(あそこでは遠い)
総合的な探求の時間や、課題研究の中で取り入れられる。
総合的な探求の時間において、活動できる内容があれば、その成果を進路に生かすことが可能かもしれない。
レストランメニューの開発
総合的な探究の時間に、本校2年次普通科では「地域課題探究」というものを実施している。地域にどのような課題があり、それをどう解決できるかを考える際に、まちづくりの観点を取り入れることができる。そのまちづくり事業を実践するのか、それとも構想のみと考えるのかで、指導の方向性が変わる可能性があるのが課題かもしれない。
総合的な緩急の時間
ボランティア活動 物品の販売
新聞を活用して地域課題や地域資源を探すことをホームルームで行っている。教材づくりで手が回らず。校外に出て異業種の人と関わる機会を生徒に提供するに至っていない。鶴岡市でそのようなコーディネーター役の人が来ていただければ、全面的に協力をしていきたい。
総合的な学習の時間を活用して、参加することができると考えます。
本校では、自分の興味・関心に応じた授業を週2時間選択できるコースがあり、そこで例えばクッキングを選んだ生徒が調理実習の成果を地元の人々に披露する場を設けて、提供する

<p>社会科の授業を利用したり、LHRや放課後を利用しまちづくりへの意識を高める。ただどれだけの時間を要するかが心配。</p>
<p>オーダー次第です。課題は、移動手段。バスを手配していただくと助かります。</p>
<p>食品製造で作った物を販売実習する</p>
<p>本校生徒が栽培した農産物販売、加工品販売</p>
<p>可能性は大きいと感じます。しかし、「駅」を中心としてまちづくりを考えること事体が、鶴岡市に合っているとは思えません。自家用車での移動がメインのこの地域においては、もっと他の視点が必要な気がします。新型コロナ後の社会を考えれば、「いかに人を集めるか」から脱却し、新しいアイデアでの人とモノとお金の動きを提案しなければならないと考えます。そういった意味で、それぞれの学校がある地域での活動、そしてSNSなどの活用という展開であれば、おもしろい授業になる気はします。</p>
<p>総合の探究の時間</p>
<p>高校生が取り組むと宣伝効果は高いと思います。しかし、利益が出るものに手をかけにくい。一番の勉強になると思いますが、利益が出ると関わりにくい。</p>
<p>課題研究や連続授業にて、取り入れる事が可能だと思う。課題としては、移動や資金等…</p>

## 問2-1 「可能性はある」【サンプル回答数55件】

<p>探求活動等</p>
<p>「鶴南ゼミ」の時間で行う 事業の企模から考えて、その時間のみの活動として行うことは難しいと思う</p>
<p>課題研究など</p>
<p>本校の研究活動に関わりがあるものは取り入れられる可能性はあると思う。高校生が教える学習指導ボランティアや鶴お菓子まつりなど。しかし、日程などを調整するのがなかなか大変だと考えられ、課題だといえる。</p>

授業では無理だと思うが、LHRなどの時間なら
ゼミ活動
○研究型活動と連携する(店とのコラボレーションや鶴南生が学習を教える自学スペース作りなど) △土地が悪い(交通手段×)
現在も2年生のゼミ研究活動で地域活性化をテーマとした研究活動にご協力いただいている
公民の授業や総合的な探求の時間で、テーマを設定した学習ができそう。課題…授業時間内で現場への移動が可能か。地域との交流などの調整。
企画を考えることは可能性あり。(一定の時期)鶴岡市役所、関係者のサポートがあるとありがたい。
総合学習(探究)で。
課題研究や総合などでいろいろな協力をいただける。事故やミスの際の保険・保障をどうするか。
探究活動
中・長期インターンシップ→単位認定
総合的な探究の時間との協働
探究型学習の活用が期待できます
学校によっては、課題研究にとりこむことができる
課題研究と連動した学習指導ボランティアなど
3年生の課題研究などでデュアルシステムによる企業とのコラボ
課題研究や「総合的な探求の時間」での課題の設定で取り入れることができるかもしれない
現在のように3年生での課題研究3時間/週の中で
総合・LHRの限られた時間でしか行うことはできないこと(十分な時間がとれない)

総合的な学習の時間における探究活動の一環として。
自分が携ったことで実感が持てれば可能性はある。課題は経費だと思う
情報の授業→まちづくりプランの提案
総合学科の各系列で関連した学習を行い課題研究につなげられるかもしれない
総合的な探究の時間において、地域とのかかわりが必要となるので、可能性は大いにあります。ただ、そのしかけを生徒からスタートするのか、地域からスタートするのが難しいところです。生徒は短い期間で入れ替わる(卒業)するので、継続的な取り組みを行うには、それをとりまとめる機関が必要だと思います。
総合学習の地域に基づく課題研究で、できると思う。
総合学科の系列(芸術・調理・被服・保育・情報…)とのコラボ。酒田光陵がやっているような事業が参考になると思われる。
地方自治により、町づくりの発展などを題材にした授業で取り入れられるのでは
LHRの時間を使って、生徒から意見を聞くことができそうであると考えため。
本校普通コースにおいて実施している選択授業を通して企画・立案し、実践として披露する。但し、調理等衛生面、規模、予算等の考慮は必要
高校生議会を設置して、各校からの意見・要望の吸い上げ・高校生議員選出(高校生の立場、視点から)
土、日や平日の夕方を中心にした、物販の企画・製造・販売、高校生が教える学習指導ボランティアなどは取り組めるし、平日の授業(総合的な学習等)の中で取り組むことは可能だと思う。
総合的な学習での実習など
総合的な学習の時間を使い、学習指導ボランティアやまちづくりの手伝いを……。
総合科目の履修の際に「生きた教科書」として利用することができる。
販売実習

特産品や食品関係
実習製品の販売(缶詰、冷凍マグロ等)
授業時間での実習製品、夏休みなどのイベント→費用の捻出
農産物の販売
プロジェクト学習につながる可能性がある
駅前整備(花壇等) 課題:教員の負担
販売実習など。
3年次、卒業研究
本校性の1/3は鶴岡市東田川郡三川町から通学しており、地域活性化をテーマにした探究学習として取り入れることができると思う。
3年次生の卒業研究で地域についてをテーマに取り組んでいる。また、各年次のキャリア総合(水5、6校時)でも地域と職業に関する企画をとり入れている。教科の中でも地域と連携し取り組んでいるものもあるため。
本校独自の授業である「7つの習慣」に組みこむなど
探求型学習における発表の場や、商品開発における検証や販売
(課題研究)などで取り込める場合、授業時間と関わる予定の大人の時間の都合がつかどうか。学校から駅前エリアまで、どうやって連れていくか。
実習
高校生が主となって販売や地域のアピールイベントなど。課題:資金、指導者
探求型学習の教材として

地域の課題解決型の授業(アクティブ・ラーニング)

問2-1 「困難である」【サンプル回答数15件】

現在のカリキュラムで余裕は無いと思われる

余裕がない

現在、駅前にスポットをあてるより、「マイナスな面」での授業になる。※つまり駅前再開発のデメリットに注目してしまう。

もうこれ以上、余裕がない。

地理的に離れている。

例えば、特進課など大学進学を目指している生徒を対象にするのは難しい。取り入れるときは対象生徒を限定する必要があると思います。総合的な学習の時間であれば可能だと思います

移動手段がない。海水から離れているため設備も含めた準備が必要。規模が大きくなるほど大変になる。

市内校で頼む

庄農からだ遠い。藤島地区で活動できている。







問2-2 「利用したい」「どちらかという利用したい」を選択した場合、  
どんなことができる場であったら利用したいか、具体的にイメージできるものがあれば教えてください。

問2-2 「利用したい」【サンプル回答数14件】

自習スペース。ボランティアへの拠(観光案内を高校生がするなど)
利用したいが時間的に難しい(授業とすれば)
放送大学 鶴岡学習センター設置
その国の風土や生活様式を知ることができる。
セミナー会場、リモート対応の部屋、40人収容、小部屋多数
建築やまちづくりに関する専門の方との交流
生徒の課題解決の手助けになるような人達との交流(先方とのアポイントやつながりを作ってもらえるとありがたい)
地理的には一番近いので有利ではある。先端研や近くの企業との交流も考えられる。
高校の授業で探究した内容を高齢者、外国人に発表する場があれば、生徒のプレゼン能力が向上すると思います。
様々な大学や専門学校などのミニ講義を受けることができれば進学を希望している生徒の進路選択につながると思います
課題研究・プロジェクト学習などの発表の場。異文化体験プログラム、語学学習会など。
利用したいとは思いますが、今や各自のスマホで全て行える状況です。大きく人間が移動せずに、幅広い活動をしていく方向で考えたい所です。鶴岡駅近辺の学校のみがターゲットであれば、それでいいのですが、各学校から移動せずに活動ができた方がより多くの生徒が関われると思います。ただし、その拠点が駅前にあり、さらに駐車場もしっかりとあるならば、土日の活用法は広がると思います。

インタビュー、日常生活で困っていることなどを急用できる。
進路アドバイスをしてくれるような場

問2-2 「どちらかというとなら利用したい」【サンプル回答数34件】

大学でのオンライン講座
学校だけだとなかなか困難な国際交流などができるとよいのではないか
クラスであれば40人、学年であれば200人程度のキャパが必要であるが、授業でとなると人数が収まらなると厳しい。学校でもオンラインは可能かと思うが、設備が整っていたら、講座の申込などしやすければ利用したい
体験授業
大学、企業人、起業した人などのオンライン講座。
授業等で行う場合、施設(パソコン)などを、ととのえる必要がある。
校内でできないことが前提となる。
授業で行くとなると移動方法、時間が課題
授業の時間と、講座の時間が合うのかどうか、移動の問題
トピックを決めた上での対話。ディスカッション。
小人数で出来ること、担当者がいることなどが可能だと。←仕切り板にして広くも狭くも出来るスペースにするなど工夫。
総合の授業や英語の授業での活用ができるかもしれません
大学の授業を実際に受講し、教養を学べる、就職するにあたって色々な業種の方と交流するなど、幅広い分野において社会に対する視野を広げられる場

e-スポーツの交流の場など
上級学校の講義参加や学生との交流ができ場があればよい。授業で利用するにあたっては、どの科、コースでも利用可能というわけではない。
外国人と交流できる場があると嬉しいと思います。お互いの文化を伝え合える環境など
進学講演会、著名な人、(社会で活躍する人)等の話を聞かせたい。
大学等との各種オンライン講座など
キャリア教育の中で現場の人の生の声を聞くことができれば良いと思う。
デジタルを活用するための整備は数年は良いが、その後急速に普及して家や学校でできるようになる。駅前まで行く必要がなくなるので持続可能な取組でない。
移動も含めて半日or1日がかかりになると思う。そうすると年度途中での参加は難しいため、年度初めに計画できていれば利用可能かと考える。
利用出来るならしてみたいが、授業で行うとなれば時間確保が出来るかが心配
自身の体験を聞きたい
生徒の移動の際の安全確保
体育スポーツ I は専門性が高いので、学生から専門的な指導がもらえる
大学・短大生とのオンライン交流(学校の説明や受験対策など)
起業セミナーなど
大学、短大等の授業を受講できる
人数やカリキュラムでの工夫が必要

英語を使用しての授業、異文化との交流
視野が狭くなりがちなアイデアを出す際にあると生徒自身の広がりになりそうだと感じる
探究の授業で、外部の方との意見交換や情報収集に利用できそう
興味はありますが、イメージがつかめません。
半期、通年、集中講座で学習したことが単位として認められれば。

問2-2 「どちらかという利用したくない」「利用したくない」を選択した場合、理由として考えられることは何ですか？

問2-2 「どちらかという利用したくない」【サンプル回答数44件】

個別の利用の方が良いと思う
移動手段と移動時間、また、自分がオンラインに得意でない。さらに講座の内容による(数学で・・・何か・・・ある?)
40人単位での移動とかを考えると難しい
校内でできることが望ましい
時間が足りない
移動が大変である。1クラス(40名)が利用できる規模なのかどうか不明。
そもそも「学ばせる」ようなものではない。
オンラインは校内でも可能かと思う。

<p>生の自由な活動の場としてなら、問題はなくむしろ賛成。しかし授業で、となると移動を考えると、使用できない。</p>
<p>個人では可？グループ学習では可能性あるが、移動を考えると難しい。</p>
<p>移動の時間を考えると利用は難しい</p>
<p>オンラインの利点はどこでもできることなので、授業で使うため駅前に移動となると、時間のロスがあると思う。</p>
<p>移動に時間がかかりすぎる事と校内にオンライン設備を整備することができれば、外の設備を利用するメリットはないと思うから</p>
<p>デジタル活用であれば駅前に行くまでもない。授業の一環での活用となると、学校と駅前の往復に時間がとられる。デジタル活用であれば駅前に行くまでもない。授業の一環での活用となると、学校と駅前の往復に時間がとられる。</p>
<p>今後学校でも実現可能なことであるため</p>
<p>帰路と逆方向だから。ただし、興味関心のある市民講座があれば利用する。</p>
<p>授業の進みぐあいて参加できる時間があるかわからないから</p>
<p>駅に行くまでが大変。オンラインであれば、学内でもできる。</p>
<p>学校から離れた場所だと生徒の掌握が容易でないため。</p>
<p>チャットやZoom、skypeなど画面ごしのものには慣れてきており、それ以上に対人の直接コミュニケーションを練習する機会や場があった方が良い。Face to faceでしっかり意見交換できる生徒が減ってきているため。</p>
<p>限られた授業時数の中で実施するのは難しいと感じます。</p>
<p>コロナ禍の中、履習しなければならない内容を授業でやるので精一杯である</p>
<p>学校にもそういった機能がある。機能のない人にそういった場をゆずるべき</p>
<p>利用する場面がまだイメージできない。その時間があればフィールド学習に出たい。</p>

教科にもよると思うが、イメージができない。
校外でやるメリットが思い浮かばない
駅前まで行く時間を確保しづらい(授業では) 総合学習や行事などでは検討可能
オンラインなら自宅や学校で出来るのでは？
本校からの移動が課題。
まずは校内での整備が先
学校内でできる。移動時間の問題。
前問と同じく、庄農からは遠い
本校の生徒は、そこについては関心がない
授業で効外施設を利用するためのカリキュラムや方法を作り、実践することができるかどうか、疑問。校内設備の活用や、相手方の既存施設を利用する方が効率的か。
鶴岡駅前までの移動が大変である。
鶴岡からの生徒数が極めて少数であるため。
余目から出かけての授業になると行くまで時間がかかり過ぎる。課外活動としてなら、部活動やサークルの活動として取り組むことはできると思う。
会場まで遠いため
あまり集中できなさそう。
デジタルなら、わざわざ駅前に行く必要はない
オンラインであれば、学校で行うことも出来ると思う



学校からの移動の手配、時間がかかること
移動が困難なため

### 問2-2 「利用したくない」【サンプル回答数9件】

オンライン講座ならば学校で、高齢者との交流ならば関係する施設で実現可能である。わざわざ駅前に行かなくても現状で対応可能である
授業で活用するとすれば移動する時間がネックだと思います。各学校でもそのような環境が整いつつあると思います。
授業に取り入れるのは難しい
移動時間がもったいない
※したくないというより、できないかもしれない。設備が十分に整っていない。
「授業で」活用できる場面が思い浮かばない。
移動時間を考えると、授業として利用するのは非効率的。放課後に活用できるかと言えば、部活動等との関連から難しい。
地理的に離れているため、移動を前提とするのであれば授業での利用は難しい。
遠い。オンラインでやるなら、学校でやったほうが良い。





問2-3 「担うのは難しい」「担えない」を選択した場合、理由として考えられることは何ですか？

問2-3 「担うのは難しい」【サンプル回答数55件】

現在の学習活動と部活動、家庭学習で生徒は手いっぱいだと思います
負担が多い(多くなる)ことが予想される(職員も生徒も)。一部の生徒に一部の専門の職員なら可能性があると思います(ゼミのような)。全職員・全生徒というのは難しいと思います。
日々の学習が多忙である
予算と人員(行政との意思疎通が図れる人材) 立地条件
普段の学校生活でも忙しそうなのに難しいと思います
将来的にそれを目指すことは出来るが・・・
人員的余裕がない
通常の活動で忙しい。一校に担当することを求めるべきではない
職員数が減り、1人が担当する仕事(業務)が増えているから。
もうこれ以上、余裕はない。
職員数が少ないため。
他にすべきことが多くあるため難しい。
本校の生徒のみで手いっぱいと思う。
部活動が盛んであり、放課後、自由な時間を持てる生徒が少ない。生徒会などで対応できる可能性はある。
自主的にであっても、結局教員(学校)が動くことになる。
まず部活動に力を入れさせたい。就職先の企業でもそれを望んでいる。

継続する体制を構築することが大変
学校独自に取り組んでいるものがすでにあるので、難しいのではないかと？
主体的に動く生徒が年々減少している。
主体的な意欲のある生徒が少ないように見えるから。(興味のあることなら積極的になるのかもしれませんが…)
問1-1に同じく、生徒は意外に自由に活動できる時間が限られていると思う。
時間が足りない
高校生の自主制とはいえ、教員も関わると思います。校内分掌の整備等必要だと思います。
学校内ではなく、郊外では色々な所や人との連携が必要なため。
勤務1年目なので実態を把握しきってはいないが、既に職員1人1人の担当業務が飽和状態にあるように感じる
一言でいえませんが様々な条件や見にみえない壁などがある
運営主体校という点においてはどの学校も同じだが、他校との関連、トラブル等ないよう行うことや、企画によっては交渉など本来の業務に加えて他の内容も増えるため、1校のみが担うのはどうかと考える。
現状の勤務内容に加えて外部活動を担当する業務増は不可能
スタッフ不足
ほとんどの生徒が学習以外に特別活動(部活動等)に取り組んでおり、運営という責任のある立場で参加するには無理があると考えます。
コロナ禍の中、履習しなければならない内容を授業でやるので精一杯である
教員の配置
そういう経験が少ないから

責任感、がまだ十分でない段階で自主的な活動は担えないと思う。
本校生徒に対して、事前指導の困難さ。
地理的、人数的な問題あり。
生徒自身の能力の問題
中心地から距離もあり、大変である
小規模校で生徒が少なく、移動制約もあるため
学校が藤島で少し遠い
鶴岡駅までの距離や鶴岡市内に自宅があれば良いが、酒田・余目などの子達はわざわざ足を向けるとは考えにくい。
人数的な問題
距離的な車で移動が課題(鶴岡市内の生徒は可能)
生徒の自主性をひき出す負担大
庄内町の高校なので難しい
近くで指示を出してくれる人がいないと、生徒自らが考えて行動することが難しいため。
主体できるほど生徒のスキル・社会性が乏しい。
本校生徒の現状を見る限りは難しいのではないか。
場所が遠いため

距離的な問題や校務分掌での問題
駅前などになった場合、毎日や日々様子を見たり運営することが難しいと感じる
スクールバス通学になっているので、近隣に住む生徒のみ運営にかかわることになるので、希望者がいればよいが…
多くの生徒が、市内以外にも在籍しており参加人数が制限されてしまう
移動に時間がかかる、勤務時間内は校務が多く学校を離れるのが難しい
理解

### 問2-3 「担えない」【サンプル回答数24件】

※総合的学習がその中心にあり、さらに学校でとなると負担大
学校職員が担う業務ではない
今抱えている業務も満足にできていない。校内の課題が多く、他のことに時間がさけない。
忙しい。校内のことで手いっぱい。
クラス減で職員数が減らされており、これ以上仕事の負担を増やせない
学校での活動が主のため(生徒会、部活動等)校外まで手がまわらない
生徒が運営主体となるのは可能。しかし、学校が運営主体つまりは教員が管理する、というのは不可能。市で管理、運営していただき、生徒へのサポーター、アドバイザーとして教員が関わる方が良いと思います。
さらに仕事を増やすことは難しい
校務の片手間にできることとは思えない
学校にはそれを担う余力はない

<p>本校は全教職員が部活動顧問となっており、部活動後の業務は時間的に余裕がない。担当部署を設置するにしても、どの部署も校内の業務で手いっぱいである。また、本校は教員数が減っており、行内業務に追われる状況は変化しないと考えられる。働き方改革の観点での指導も厳しい状況である。</p>
<p>自校のことで精いっぱいである。</p>
<p>地理的に、それをしたら授業に出られない。(長期休業中のイベント運営なら可能)</p>
<p>生徒数の減少と、駅前までの位置関係</p>
<p>学校規模が小さく、農作業もある</p>
<p>トラブル、事故、事件にまきこまれた時に責任は、学校にくる。対応できない。</p>
<p>生徒数、教員数が少ない</p>
<p>興味があり、参加したい生徒はいるかもしれないが、運営主体となると地理的なことがあり難しい。</p>
<p>生徒の日ごろの生活を見ていると、できるとは思えない</p>
<p>鶴岡駅自体を利用している生徒が少なく、運営に十分関わるできないと思われる。</p>
<p>遠い。</p>
<p>やはり遠すぎます。学校関係者が二足の草鞋で運営するのではなく、全くの別団体で運営すべきだとは思いますが。</p>





問2-4 仮に、貴校が運営主体校となった場合、教職員はどのように関わっていくことが望ましいと思いますか？【サンプル回答数82件】

関わり方はとても難しいと思います
見守る 生徒の自主性を第一に考える
想定として19時ごろの活動になるので教職員は関わらない方が良い
高校生が完全に自主的に行うのは難しいので教員やそこに関わる大人がはじめに企画をたて、道をつくっていかなければならないと思います
教職員も主体的に関わっていくことは他業務との兼ね合いも考えてなかなか厳しいと考える。ですので、生徒や学校全体との調整役としては関われるのではないかと
生徒の補助的役割
部活動、生徒会などの時間がブッキングしない職員。部活動と同じような位置づけなら。部活動を持って両方というのは基本無理ではないでしょうか
専門的に携わられる人材が居れば良いと思うが現状では教職員が関わることは無理
部活の1つとして位置づけ、活動を監督する(全教員で持ち回りがよい)
職務が多忙すぎて関われないと思う
状況の把握。事務的サポート
生徒との連絡くらいしかできないと思います
【他校主担当&本校サブ】どういう場所にするかで変わる レストランを本校が回すのはおかしいし、大学との交流を大学進学が少ない高校がやるのも負担かもしれない(実業校の方が大学とやると本当は楽しいかもしれないが)
市の担当者が関わるべきで、教職員に担わせるべきではない。校外活動である。
学校間の日程調整などに関わるくらいが望ましい。
教職員が「街づくり」に関わってよいのか。生徒を、見えない答えに導いてよいのだろうか。

安全に気を配るよう言う程度
生徒と外部との連絡、調整
放課後に訪問等
校務でそんな時間はない
どのような活動を行うかにもよりますが、企画、運営全般を行うようにする。
鶴岡市との調整。その後の生徒への指導。
教員の多忙化につながる。現在も部活動指導でいっぱい。なるべく、関係を持たないほうが良い。
生徒が運営主体となるのは可能。しかし、学校が運営主体つまりは教員が管理する、というのは不可能。市で管理、運営していただき、生徒へのサポーター、アドバイザーとして教員が関わる方が良くと思います。
運営主体校になることを望まない。
単位認定につながれば、関わりは大きくなる。教員退職者を「シニアディレクター」として、ボランティア参加してもらう。
教職員は関われない。
部顧問としての位置付け
部活動などから担当をはずし、それ専任の担当者を複数つけないと難しい
発想がまちがっている。運営主体は別につくらないとできない。
わからない。
特定の教員に過度な負担がかからない様な運営体制
既存の業務、固定概念から脱却

運営主体校に対してどういう運営をしてほしいのかが具体的にわからないため、回答できない
担当の分掌を整備
企画の立て方、進め方へのアドバイス
生徒が主体的に動けるようサポートするのが良いと思います。何を、いつまで行うのか、コンセプトを明確にして、できれば継続可能なものを考えていくことが大切かと思います。
市とのコーディネート。
連絡、調整を主にやる。
学校に直接かかわることにつながるのであれば、協力体制を整えてやる必要があるが、そのためには様々な準備が必要になるため、苦勞すると思われる。
理想は生徒が活動する場で全て引率する。ただ勤務時間とのかね合いがある
基本的な活動はすべて生徒に任せたいと思います。その助言やサポートは教職員がするという形
市役所、外部団体、高校生とのコーディネーター役となることは必要であると思われる。すべての調整が求められるので望ましいとは考えるものの現実的には難しさを感じる
運営主体校になった場合は積極的に事業に関わっていく専任の教職員を配置しなければならないと思う。
子どもたちがのびのびと活動できるように環境を整えたり、サポートしたりすることが大切だと思います
教職員は授業を担当する他、部活動においてもかなり時間を制限されて指導にあたっており、余裕がないため、なかなか関わることは難しいのが現状である。
校務に追われているため、毎回教員が参加することは、現状難しいと思いますがその成果を発表する場には参加できると思います。しかし普段は、外部で活動し、外部指導者が指導して頂くことが望ましいと思います。
まずは生徒の自主性を重んじ、適宜アドバイスしていく。
一部の生徒だけが活動するのではなく、学校全体の取り組みとして、生徒たちが活躍できるように関わっていくことが必要だと思う。
責任ある有意義なことをしているのだと生徒が認識していけるよう、生徒をサポートしながら一緒に活動していければ良いと思う。

補助、裏方、大人との調整
販売等の引率
教職員が駅前に、常駐すること
想像ができない。(長期休業中のイベントは生徒を活かすサポート)
授業時間のコマのように各校の時程を決めて運営していく。
どのようにはわからないが、生徒が自主的にと言っても学校の管理下で行う以上は教員に責任が発生するため、中心的に関わる必要がある
生徒がメインで活動できるようアドバイザーとして関わる
あくまでも主体は生徒に。また教職員ではなく、一般の大人が関わった方が望ましいと思う。色々な大人がいてたくさんの考えがあることなどコミュニケーションの幅も広がると思う。
なるべく生徒の意見を取り入れ尊重する
生徒の力量による
文化活動、農業学習の発表、出品の場
現場は超がつく程忙しいので、教育行政側の大きなサポートが欠かせない。
総合的な探索の時間の授業の一貫として 部活動として
あまり教職員が前に出ずに、生徒をサポートする形
教職員の中で参加したいという希望所があれば、関わることは可能だが、学校の業務の一環としてということではなくボランティアとして協力することになると思う。
あくまでも生徒のサポート。生徒主体。
成人年齢が2022年4月から18歳に引き下げられることから、3年生が関わるような運営となった場合、基本的には協力員が関わらなくてもよいのではないかと考える。

関わることは難しい
生徒が困ったり悩んだりした時に、すぐ近くでアドバイスできる体制であること。
教職員が引率する(指導・助言)のが望ましい。
仕事量を増やさずにいかにできるか。あくまで生徒主体で。
部活動(ボランティア関係など)の1つとして関わるのが可能なのではないだろうか。
放課後を活動時間とし、話しあいの場を設け調べる場を提供し、アドバイスをする。あくまで、生徒主体で、困ったときに手を借すていど。失敗する場を奪うことはしてほしくない。
教員側がうまく誘導できるだけの知識が必要になってくるため難しさは感じられ、誰でもという訳にはいかなくなる。そういったスキルのある教員がいるのが望ましいのではないか。
学校側が運営すること自体厳しいと思います。
運営主体校を決めたら続かない。行政で行って下さい
委員会活動や部活動などが可能なのではないかと思う。
委員会活動や部活動などが可能なのではないかと思う。
シナリオのような骨組みを考えて、できるだけ生徒に行わせるようにする。
できればサポートとして関わりたいと思うが、そのような知識がある教員、時間がある教員がいるかどうか…
徒の主体性を育成できる立場での行動が望ましい
管理、運営のサポート 生徒主体の活動とし、教職員はサポートに徹する
運営主体校としての関りは難しいと考える



問2-5 学校または教職員が関わるにあたって、ネックとなることや懸念事項、参加する条件などがあれば教えてください。【サンプル回答数104件】

多忙。生徒も部活・校内の活動等で非常に忙しく時間が限られている
教師で多忙であり難しい
生徒の自主性が第一で考える
生徒に負担にならないこと
上記の通り、関わりは深いものになると思うので時間を作るのが難しくなると思います。その企画を担当する所が学校以外であるとよいと思います。
多忙化(生徒も教員も)→それを超える価値や今後の見通しがもてれば関わりやすくなるのではないかと。日程→学校行事などもあるので調整がうまくいくかどうか心配
負担(時間的な)がふくらむこと。内容が楽しそうなので生徒も部活動(放課後)と兼ねることが可能なのか
生徒が活動する際の安全、学校側に責任が生じる
現状の職務内容で手いっぱい 人手が足りていない
時間外勤務となる。学校を離れるため教材研究など業務との兼ね合いが難しい。(参加にあたって手当が得られるべき)
授業分掌の軽減は必須。勤務時間外の活動となるなら、時間外手当並みの補償をすべき(市職員はこれが仕事だが教員は本務ではない)
勤務時間 部活動と活動時間が重なる場合
教職員にとってそれが仕事と言えるのかどうかだと思います
授業・部活との両立 勤務時間内に処理できるとは思えない
働き方改革のなか、業務がふえる
日常の業務で追われている。教職員に関わらせようと思えるべきではない。市でできないのなら、やるべきではない。



活動日が休日になった場合の代休の取得が困難であること。 現場へ生徒を引率する時の移動手段。近い時は徒歩でよいが、遠いとき生徒を車に乗せて移動できない。
特にない
そもそも、もうこれ以上、余裕がない。
本業以外の仕事が増えること
時間外の活動がでてくると部活動指導ができなくなる
授業後、部活をしてからの課外活動となると余裕も時間もない教職員が大多数では？
時間外の活動であること、部活動指導の時間と重なること。
運営主体となった場合の学校の校務分掌にどう位置づけるか難しい
放課後の時間が少ない、またはとれにくい
校務でそんな時間はない
トラブルが発生したときの責任の所在
うちあわせ等も含め、時間的に難しいと思われる。
費用など
多忙感が今まで以上に増す可能性がある。
教員の多忙化につながる。現在も部活動指導でいっぱいいっぱい。なるべく、関係を持たないほうが良い。
担当となった教員だけが関わる、学校の業務外の仕事となると予想される。
通常業務で忙しい
時間がない。

働き方改革で、部活動指導の在り方が大きく変わろうとしている中、時間をどのように創出していくかは、大きな課題です。
働き方改革に逆行しない支援体制
継続が難しい
仕事の多忙化
仕事が増える形での運営では続かない。時間帯の問題もあるのでは。
ほとんどの教員が部活動を持っている中で、土日もない位に活動している。その上で活動していくのは難しいと考える。
個人情報管理と活動時間の管理→部活動・授業とその他の活動
業務のスリム化 多忙化の解消
理想・理念はわからなくはないですが、現場にそれほど余裕はありません。(人員増や、業務のスクラップと並行が必要)
学校が何にどう関わるのかを明確にしていきたい。
部活動との関わりをどうするか 担当者の仕事内容
担当職員の業務過多。連絡をとる担当、事務手続きなどで+αの人出があると可能ではないか。
主体的、自主的に始めから行動できる生徒は少数であるため、負担となるのは事実だが、もたらず効果が大きいと思えばやってみたいと思う
職場での仕事との両立は難しい
コンセプトが明確であること。生徒や学校まかせとならないこと。行政が地元企業とよく話し合い企業からの協力も得られるようなものを企画していくことなど。
勤務時間。
放課後は、部活や学習指導などで時間が不足しているうえに、校外に出てさらに生徒の把握をするのは難しいと思います。
他の業務とのバランスの取り方

<p>教員の多忙化が問題となっているなかで、新たに校外の仕事が増えるのは望ましくない。できれば専属でその仕事に取り組めるようにしなければならない。通常の授業やその他の業務と並行して行うのは無理である。</p>
<p>ただでさえ仕事量が多く負担なのにこれ以上仕事が増えるなんて考えられない。職員を増やして仕事量が分散できれば参加できるかもしれない。</p>
<p>自治体等と学校は動き方が異なるので、それをお互いに分かりあうまで時間がかかると思う。また責任の所在。生徒が万が一怪我などをしたら、どちらの責任で、どのような保険を適用するのか。</p>
<p>授業、学校活動以外のことに費やすエネルギーが不足するため、負担になりかねない。</p>
<p>勤務時間外での活動となれば、関わることは難しくなるのかなと思います。</p>
<p>学校の枠を超えたサークル等という内容があるのであれば、学校や教職員が関わると、それは学校の内容になってしまうのではないは、放課後や課外を利用するのであれば、それはまた別の枠組みが必要になるのではないか。</p>
<p>学校全体で関わることは難しいが、個人的には非常に興味があります。</p>
<p>勤務時間、今の状態でもやることが多いので、プラスになると正直厳しいかと思います。</p>
<p>多くがボランティア依存になりがちだが、必要な経費、報酬はあるべき。それらを教員は受け取るのが出来ない。望まない故に、他へもそのように考えてしまい、スタッフや労力、専門性の経費を軽んじてしまう傾向があるように感じる。関心はあれど、土日等も部活動の引率などあり、ほぼ手は空かない。</p>
<p>働き方改革を考えた上で、教職員の多忙化の解消に逆行するのではないか。学校全体としての人材配置ができるかどうか。</p>
<p>教員の業務がさらに多忙化してしまうこと。他の業務がおろそかになってしまうことが懸念されます。</p>
<p>問2-4の通り、関わるのがなかなか難しい。社会教育等が中心となって進めていくのが望ましいのでは？</p>
<p>勤務時間</p>
<p>部活の顧問をもっている教員がほとんどであり、校外活動に専念できる教員がいるかがネックとなっています。</p>
<p>他の業務との兼ねあい 事故があったときの責任の所在 etc</p>

どれだけの負担になるのか、生徒がどの程度主体となっていけるかが心配
時間が足りない。
業務の増加
生徒の自主性が下がる
休日や時間外の取扱いや事故等があった場合の責任の所在など。
学校での職員が少なくなる
部活動より扱いは低くなるはずで、全くボランティアとしての参加になると思う。そこでも生徒の活動に関わるため、事故、事件への責任の所在はまぬがれない。
土、日、祭日などに活動できれば良いが、学校における働き方改革という名目で、残業等の時間が制限されている。 田川地区の高校再編整備計画進行中であり、関わる高校は多忙を極める。 参加するにあたり、交通手段の確保が難しい。
他の業務との関わり(時間的なもの)
時間の確保が出来るかどうか、多忙化に拍車をかける。
本来の業務以外のことに時間を費やす(働かた改革に反する)
ケガやトラブルがあったときの責任は？
平日での対応は難しい(距離)長期休み、休日でもどう関わられるか？
土日、休日の参加
目標(理念)の共有と責任の範囲の明確化。

担当者の負担が大きい
移動に係る時間、経費 他の高校との連絡調整の負担
校務が多忙である。余目からでは行けない。
距離的な問題で難しいと思われる
ボランティアで参加の場合、公務外となるため、保険等はきちんと入ってほしい。
勤務時間超過
責任の所在(運営時に何か課題などが発生した時)
職務専念、責任、権限、予算、組織等がどうなのか
校務以外の仕事が増える。
本校から鶴岡駅前が遠く、移動に時間を要する。
仕事量を増やさずにいかにできるか。 あくまで生徒主体で。
勤務時間等
週1～数回活動する場合、教職員の勤務の扱いについて部活動と同様の扱いになるのか、生徒引率が伴わない場合などどうするかなどについて知りたい。
働き方改革の流れの中、色々な制限がありながら工夫して業務を行っています。こういった内容では、各自の意志で…とはならないレベルだと思いますので、やはり、別団体での運営が望ましいと思います。
もし、土日、夜の活動となったときに、教員もつくとなると、休みがなくなる。 口、手を出すすぎると、生徒の経験値が少なくなる
教員側がうまく誘導できるだけの知識が必要になってくるため難しさは感じられ、誰でもという訳にはいかなくなる。そういったスキルのある教員がいるのが望ましいのではないか。





問3-1 鶴岡駅前エリアに幅広い年代の方が利用できる施設や機能はどのようなものだと思いますか？

問3-1 「その他」【サンプル回答数21件】

すみません。想像できません。駅前って地方都市では通学(学生)が大半を占めているイメージ。あと、観光者と出張等ビジネスの人たちを想像するものですから幅広い年代と言われると…。
人工芝のフットサル場
広めの駐車スペース
遊戯施設(スポーツ施設も含め、スケートボードなど子供が遊べる場所。将棋、囲碁、麻雀など大人も楽しめる場所)音楽を楽しめるスタジオなど
児童遊戯施設
温泉、映画館
山形市(駅)のように、学校の設置等も良いかも。
保育・福祉関連
駅前、日吉商店街をまき込んだ一体感のある街づくりが望まれる。
映画館
駐車場
東根や山形市にあるような子育て世代が楽しめる様な屋内施設
オープンスペース(展示可能な)



スーパー銭湯
駐車場(無料)
小さな催事場
現在のフーデバ?は継続が困難のようだ。
駅前駐車場が不便なので、敬遠しがち。広い平面駐車場がほしい。
多目的なオープンスペースがあり、机、イスもありくつろげる所 例えば、エスモールー1階の中央部分、マリカ1階の部分の店の所にオープンな小スペースを用意して各高校が自由に使えるようにするとか。
どちらにしても、大型の駐車場がなければ人は集まりません。
人が集まれる要素があれば何でも良い

**問3-1 その他項目について**

コメント記入欄

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

問3-2 高校生が活躍できる・利用できる施設や機能はどのようなものだと思いますか？または自由に利用できるスペースがあれば、何の使用が望ましいですか？【サンプル回答数80件】

展示や発表等ができるスペース
勉強スペース
学習スペース
学習施設(電車の待ち時間を活かせるように) スマホを使った情報発信拠点、大学の講座を受講できる場、国際交流の場→これらもよいと思う
高校生の多様な趣味を共有できる場所。またその技術を向上できる勉強できる環境。(指導者や他地域(首都圏など)と情報交換できる環境)だと良いかも
鶴岡市内にはスポーツ施設が足りていないので、屋内つきのスペースがあれば様々なことができるのでは。
学習塾や自学スペース(電車通学性が待ち時間に利用できる)
芸術活動(絵の発表、ピアノの演奏など)が行える。学校を越えてクラブ活動が行えるスペース。将棋など幅広い年代が持ち込める趣味のスペース。
みんなが楽しめるイベントの開催。住みます芸人の三浦さんを招いてのお笑いライブ。バンドのコンテスト。スケボーの大会。ダンスコンテスト。クリスマスイベント。新人芸能人(歌手)のPRイベント とにかく楽しくないと人は集まらない(周りへの波及効果も期待できない)
実業高校が起業しやすいような環境作り。高校生は無料のようなレンタルスペース。駅前エリアだけ考えないで鶴岡市として駅前エリアをどういう位置付けにしたいのか示してほしい。他のエリアとの関係。高校(中高)は旧市街にある。
作品の展示、課題探求のポスターセッション(発表会)
学習スペース
利用できる…学習スペース
多目的な文化スペース、アートフォーラムのようなもの
学習スペース
学習、待ち合いスペース

飲食できる場所が近くにある、学習スペース(自習スペース)(銀座通りのセントル(DaDa)や、タクトのような)雰囲気の良い…
あまり必要とは思わない
図書館など
電車やバスの利用者が多いので、時間を調整できるような、商業スペース、学習施設など
学習施設等
ボランティア活動の拠点
高校生が無料で使えること。学校を通した申し込みを求めないこと。手続きが簡便であること。(スマホ・ネット・tel)
多様な年齢層が集まれる、魅力ある場。そこで高校生が主体的にリードしていける場
駅を利用しない高校生が駅前に足を向けるとすれば、忙しい日常から少しでも開放されるような施設が必要だと思います。
フリーWifiを整備し、通信を用いた何らかの活動ができれば集まるように思います。
高校生を対象とせず(高校生を対象としてせまく考えてしまうため)→すぐに卒業・就職して残る場合は子育て世代になってしまうので幅広い年代の人たちの交流の場として考えたほうが良いと思う。
趣味の広場 職業アドバイザーとの相談の場
カフェテリアのような、お茶するにも、歓談するにも勉強するにも自由な場所
ボランティア活動の拠点。そこでのボランティアでなく、運営する拠点。
上記の複合施設です。今の駅前には電車通学やバス通学の生徒が時間をつぶせる場所がありません。図書+オープンスペース、学習やイートインが可能なスペース、箱型ブースで5~8人程度で使えるfree wi-fiワークスペースなどがいくつかあるといいのでは?と思います。
自習スペース 無料のボランティア塾などがあれば集まると思います。
自学スペース

大学の講座を受講できる場 ボランティア活動の場
学習スペースを望みます。(自学)
多目的ホール、文化、スポーツ、etcオールラウンドで使用できる
勉学につながるものであれば何でも。
学習施設 電車の待ち時間を利用し、登録性でのesportsの場所(簡易的に登録できる、wifiつながる…)…具体的なものは上記のもの
学校という狭い空間で生活していても将来やりたいことは見つかってきません。駅前に地域の人と関わる場所が欲しい。また、高校生ならではの斬新で新しい考えは日々たくさん出てきます。高校生に予算を与え、企画を運営させてあげてほしいと思います。少子高齢化による先進県である島根県に行ってみようと考えたくらい興味がある分野です。一度会って話してみたいです。ありがとうございました。
自分の活動の発表の場 学習できる場
人(高校生)を集める、往来を活発化させるだけなら写真映えするスペース、ベンチ、テーブル、空間 駅(JR・バス)利用しない高校生に機能を求めると時間が限られるため効率利用は難しい。(16:00~20:00くらい4h) 献血ルームの誘致 3×3スペース(バスケット)2面(ミニ 一般)のリング 春夏秋にストリートピアノの設置
音楽、ダンス、芸能その他さまざまなパフォーマンスを披露できる公開スペース
職業体験スペース 国際交流の場
作品の展示スペース、様々な体験スペース、ライブハウス等
駅を利用する生徒が活用できる学習スペースを充実して頂けると大変助かります。
巨大なカフェスタイルの、図書館、学習しせつ
アートフォーラムのような機能やかたんに体が動かせる機能(名鉄豊田市駅の駅前卓球台)
職業体験スペースや大学の講座を受講できる場など将来につながる施設

高校生が製作したものを販売できるブース(菓子、絵画等各校の独自性を活かしたものをそれぞれで作り、持ちよって販売のみする場所)
展示スペース(生物、水族クラゲとか)
ボランティア活動、店舗等の運営。
日替りの各校文化部活動スペース 小規模のキッチンを利用した試食会など
勉強したり話したり自由にできるオープンスペース(イスと机のあるきれいなところ)
図書館等の学習スペース
好きな事を表現できる場
製造、生産物の出店、販売、試食会等 職業、進路に関わる相談所など、大人とのコミュニケーションがとれる場
楽器やアンサンブルをするための防音スペース。(複数)
インターネットが使えるフリースペース
娯楽的施設、カフェなど滞在したいと感じさせる魅力的なスポット。人が集まる場所。
学校の枠にとらわれずに多くの学校の生徒が集まって組織されたサークル活動のスペース 美術、書道等の展示スペース
アートフォーラムのような、展示、ライブハウス、ができ、図書室のような空間もあれば
絵画等自身の作品の展示スペースなど
勉強スペース
自習できる静かな環境とおしゃべりなど自由に交流できる場である程度大人の見守りがあれば安心です。
学習スペース、交流スペースなど

多人数でのオンラインでのやり取りができる多目的室
自学などを含めた学習できる場所
学習スペース 作品展示スペース
各高校の特色や成果を展示、発表できるスペース 高校生が、小中生相手に教えられるスペース(教科に限らず趣味等でもよい) e-スポーツ大会の場(月1、週1など定期的にやる)
ライブハウス
「高校生が」というよりは、「高校生が地域の一員として」という視点の方が良いような気がします。例えば、羽黒町の体育館で行われているバドミントンなど、自然に、中学生、高校生が、大人のバドクラブに入って活動、運動しています。雪が多い地域ですので、やはり全天候型の施設、複合的な施設が望ましいのだと思います、が、やはり駅前に集中させるというよりは、各地域の「場」を充実させていく必要があるように思います。
職業、大学が知れる場があるのは、望ましい→自分でなかなか動けない人が多い 何でもいから、自分で考えて、実行し、成功する体験ができる場がほしい。それで、地域や他人の役に立つという経験、大変さ、苦労を学び、自分に足りないものを自覚し、今やるべきことをやれるようになってほしい。
ボランティア活動の場
ボランティア活動や職場体験など
展示スペース、ライブハウス、ボランティア、交流の場、スポーツができるなど多機能だと人が集まるし、利用しやすい。
文化的活動(ダンス・音楽・ICT等の情報なども含む)
人が集まれる場、催し事が行える場
他校生と交流し、情報発信できる場 イベントを開催できる場
電車やバスを利用する生徒・学生が、時間を有効に使える場
展示会スペース 個人、団体または実習等で制作した作品、製品などを展示、販売するスペース

